

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年2月17日 (2011.2.17)

【公開番号】特開2008-116966(P2008-116966A)

【公開日】平成20年5月22日 (2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-289903(P2007-289903)

【国際特許分類】

G 0 3 G 5/147 (2006.01)

G 0 3 G 5/05 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 5/147 5 0 4

G 0 3 G 5/05 1 0 4 B

G 0 3 G 5/147 5 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月28日 (2010.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持基材、電荷発生層、少なくとも 1 つの電荷輸送層、および前記電荷輸送層と接触し且つそれに連続したオーバーコート層を有する画像形成部材であって、

少なくとも 1 つの電荷輸送層が少なくとも 1 つの電荷輸送成分および少なくとも 1 つのチオホスフェートを含有し、

前記オーバーコート層がアクリル化ポリオール、ポリアルキレングリコール、架橋剤、および電荷輸送成分を含有することを特徴とする、
画像形成部材。

【請求項 2】

前記アクリル化ポリオールは 1 0 から 2 0, 0 0 0 のヒドロキシル価を有し、

前記アクリル化ポリオール、前記ポリアルキレングリコール、前記架橋剤、および前記電荷輸送成分が酸触媒の存在下で反応して架橋ポリマーネットワークを形成している、
請求項 1 に記載の画像形成部材。

【請求項 3】

前記ポリアルキレングリコールがポリプロピレングリコールであり、

前記アクリル化ポリオールと前記ポリプロピレングリコールの重量比が 2 : 8 から 8 : 2 であり、

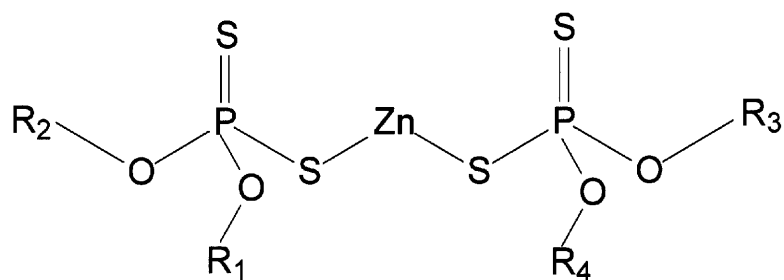
前記アクリル化ポリオール、前記ポリプロピレングリコール、前記架橋剤、および前記電荷輸送成分が前記触媒の存在下で反応して、前記アクリレートポリオール、前記ポリプロピレングリコール、前記架橋剤、前記触媒、および前記電荷輸送成分を含有する架橋ポリマーネットワークが形成されている、

請求項 2 に記載の画像形成部材。

【請求項 4】

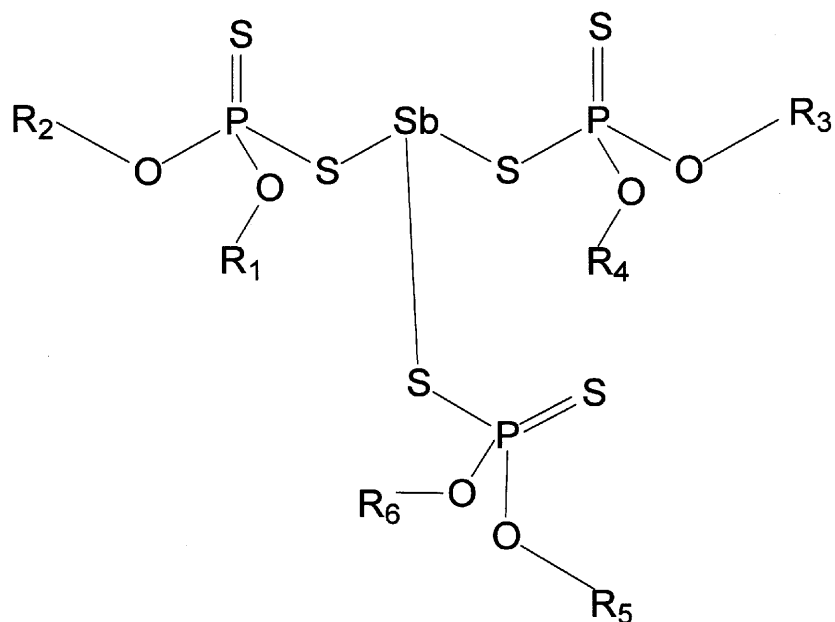
前記チオホスフェートが

【化 1】



および／または

【化 2】



である、請求項 1 に記載の画像形成部材。

(式中、 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 、 R_5 および R_6 は、各々、独立して水素原子、アルキル、シクロアルキル、アリール、アルキルアリール、もしくはアリールアルキル、またはその混合を表す。)

【請求項 5】

前記チオホスフェートがジアルキルジチオリン酸亜鉛である、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の画像形成部材。